

別記様式（第3条関係）

開催記録

名 称	町民懇談会
開催日時	平成 25 年 5 月 27 日 午後 7 時から 9 時まで
開催場所	永井野地区公民館
出席者	<p>【役場】 副町長、佐々木教育次長、佐々木まちづくり政策課長補佐、渡部係長、 国分主任主査、中村主査</p> <p>【町民】 26 名</p>
議 題	<p>○公共施設整備検討について</p> <p>○第 3 次総合計画に向けたまちづくりについて</p>
資料の名称	<p>○公共施設整備検討に関する庁内検討報告</p> <p>○第 2 次総合計画ダイジェスト版</p>
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
内容	
<p>《公共施設整備検討についての質疑》</p> <p>Q 10 年償還と 30 年償還、どちらを使うのか？</p> <p>A 耐用年数にあわせてどちらでも可能であり。今後検討したい。</p> <p>Q H33 年の記載があるのは何故か？</p> <p>A 地方交付税は合併後 10 年間減らさないルールがあり、H27 年までは減らない。その後 5 年間段階的に減らされて H33 年で一本算定となるため。</p> <p>Q 高田中央地区非農用地の面積が 6 町ほどあり、今回施設を作っても余ると思うが、ほかの部分は整地するのか？それに合わせた周辺環境整備が必要ではないか？</p> <p>A 今は決まっていない。検討中である。皆様の声を聞いてから案を詰めていく。</p> <p>Q 建設する方向だという理解でいいだろうか？町としての考えはどうか？意見を言うにも町としての考え方がないと言えない。</p> <p>A 建てるという判断はしていない。庁舎を建設をしない 4 案というプランもある。</p> <p>A 町としては、危険な建物についての問題を解決しなくてはならないと認識している。このままにはしておけないので、皆様からの意見を聞いて議論を進めていきたい。案によって、それぞれメリット・デメリットあるので考えたい。非農用地も有力な案ではあるが、中心市街地が空洞化する等の課題もある。今は広く意見を求める段階である。</p>	

Q 合併するとき複合文化施設は作るという話だった。そして、役場高田庁舎は危険なことは確かであるので、どちらも建設する方向で進めてほしい。

A 今、その方法を検討しており、お話を聞く場であるのでご理解願いたい。

Q 建設面積を示してあるが、建物の階数、建て方等のプランは？複合文化施設については猪苗代の建物をモデルとするのではなく、町民の意見を聞いて複合文化施設の案を考えてほしい。それが前段階にあるべきだろう。プランによって金額が変わってくるので、最初に固めておいた方がいいのではないかな。

A 5,000 m²という数字については、職員数から算出している。複合文化施設については、用途が決まっていないので、近隣市町村の施設の面積だけを目安として参考にした。詳しい施設の内容については、別の機会を設けて意見を伺いたい。

Q 庁舎を二本柳公園に作ってはどうか？そして、グラウンドを非農用地につくってはどうか？何のために非農用地を買ったのかわからない。

A ご意見として頂戴する。

Q 複合文化施設は全てのプランで作る計画であるが、それをどれくらい使う機会があるのか、しっかり現状調査をしてもらいたい。最低限の大きさと建設し、利用頻度が高く効率のよい施設がいいと考える。それを目指してもらいたい。

A 町民が使いやすいような施設を検討していきたい。

Q 合併してよかったと思うことは一つもない。分庁舎方式で不便である。文化財を展示する場がなくて寂しい限りである。自分たちの文化を展示する場があってもいいのではないだろうか。常設的な展示施設がほしい。場所は二本柳運動公園がよい。

A ご意見として承る。

Q 町を発展させるきっかけになる施設になればよい。既存の場所にとらわれず、新しい商店街をつくるという発想があってもよい。文化施設については、若松の稽古堂を参考にするのもいいのではないかな？

A 新しい拠点という発想はなかったので、ご意見として承りたい。

Q 現在、商業施設の誘致はどうなっているのか？

A リオンドール以外の動きは特にない。例えば、非農用地に施設を作れば既存の商店街から不安の声があるので、新しい買い物客の導線や中心市街地活性化の方法についても考えていく必要がある。今回は皆さんと一緒に考えていく場なので、スタートの部分から考えていきたい。

Q 建物が古いから作るというだけではなく、活性化・人口を増やすというところに重きを置いて議論をしてほしい。

A ご意見として承る。

Q 合併から分庁舎方式をとっているが、不便である。無駄になっているお金を削っていただきたい。

A 分庁舎方式に課題があることは承知している。検討したい。

Q 分庁舎方式が不便ということはわかっているが、総合庁舎への集約には反対だ。町が大きな借金を抱えるのであれば、その分少しでも町民が苦勞した方がよい。本郷と新鶴庁舎の耐用年数も考えた方がいい。ケース3などはそれを考えると怪しい。本郷新鶴の庁舎がだめになるまでお金を貯めて、そこで大きいのを作るのはどうだろうか？通信機器も発達しているのだから、そういったものを使って窓口サービスを向上させてはどうだろうか。現有施設を十分利用して考えてほしい。モデルケースの3で、複合文化施設の中に行政のスペースを設けては？

A 十分に検討する。

Q 若松との合併についてはどうなのか？道州制の議論などあるがどうなるのか。

A 若松との合併の案は現時点ではない。

Q 新鶴庁舎の維持費を参考にとあるが、あそこは華美すぎてもったいないと感じる。現状のハコモノの経費のあり方を見直してほしい。

A 新鶴庁舎は現時点では省エネ型の施設であるので参考にした。専門家の意見を聞いて、将来のランニングコストがかからないようにやっていきたい。

《第3次総合計画策定に向けたまちづくりについての質疑》

Q グリーンツーリズムについて力を入れてほしい。観光などと組み合わせた誘客ができる。森林療法というのがあるが、おすすめである。子供たちの森林体験（幼稚園）、小さい頃から自然に親しむことも必要。町の方で音頭をとってほしい。ばらばらで動くのではなくて町が一つになってほしい。

A 町民の方のグリーンツーリズムの動きも盛んになってきている。町としても動いていきたい。

Q 町の計画というと大きい話になりがちであるが、今、町にある宝を見直していくことが必要である。文化財・歴史・今あるものが大切だと思う。生かして行ってほしい。

A ご意見として承りたい。

Q 民間企業であれば重点事項がはっきりしている。行政としても最重点課題を明らかにして、相乗効果で発展していくという構造が望ましいのではないか。

A 全てが重点課題である。一つということはないが、その年度の予算配分について重点的に動くものはある。

Q 行政が評価されるものさしは？

A 毎年施策単位でアンケートをとっている。分析をしながら重点的な振り分けをしている。今は活力ある産業づくりである。評価は「行政評価」で行う。民間の手法を取り入れながら行っているのご理解いただきたい。